

# BRASIL [3]

JICA 日系社会青年ボランティア  
2017.7 ~ 2019.7 青少年活動 兒玉愛恵

相模原市のみなさん、Bom dia! 現在 JICA の日系社会ボランティアとしてブラジルで活動しております、こだまなえです。私は「青少年活動」というもので派遣されていますが、活動の内容は「日本語教育」「日本文化の授業」「剣道」があります。

前回の投稿からしばらく間が空いてしまいましたが、今回は「日本文化の授業」について紹介します。

## こども向け日本文化の授業

現地の福祉施設で 10 ~ 12 歳の子どもたちに向けて日本文化の授業をしています。この施設は日本でいう学童のようなところです。日本の学校は 1 日中ですが、ブラジルは学年や学校によって、午前に授業がある場合と午後にある場合があります。両親が働いている場合、長い時間を子どもたちだけで過ごすことにより時間を持て余し、非行に走るケースや犯罪に巻き込まれるケースがあります。健全に育ててほしいという願いからこの施設では、外部のボランティアや教師たちが音楽やダンス、スポーツ等のクラブ等の活動を行っていて、私の活動もその一部です。



けん玉や茶道、巻き寿司作りや浴衣の着付けなど、直接日本文化に触れることができる活動を積極的に取り入れています。

抹茶はやはり慣れない味だったようで「Que amargo!!(苦い)」と言っていました。



折り紙の授業は好評で、特にピカチュウなどのアニメキャラクターは人気があります。

生徒からの提案で、小さい折り紙でピアス作りもしました。ブラジルの女の子はほとんどピアスの穴が開いているので、ブラジルならではの活動だと感じました。男の子はお母さんや姉妹にプレゼントにしました^^



# ペルナンブコ州立大学 日本文化コース

任期が終わる半年前でしたが、州立大学のアジア文化研究所から要請があり、大学の公開講座を担当することになりました。日本語に興味を持つブラジル人はたくさんいますが、その最初の動機は日本文化に興味を持つことが多いです。アニメや漫画だけでなく、着物や日本食も人気があります。

日本語のコースではないので、授業はすべてポルトガル語で行っているため、事前の準備にとっても時間がかかります。でも、私にとっても日本のことを改めてよく知ることができる機会となっていますし、現地の人から直接日本の印象を聞けるので、外から見た日本を学ぶことができ、とても新鮮です。



生徒は 15 名。  
定員 20 人で 1 月ごろに募集をかけ、  
2 月から授業が始まりました。  
公開講座なので、大学生だけでなく  
地域の方は誰でも参加できます。



毎週テーマに沿っていろいろな日本文化を体験できるように考えています。「漫画」のときは、私が教える必要がないくらい、むしろ私以上に詳しく、生徒自らポルトガル語に翻訳された日本の漫画やコレクションのフィギュアを持ってきてくれました。やはり、日本のポップカルチャー人気は強い！

最低限の茶道の道具や浴衣は日本から持ってきました。足りないものはこちらで買ったり、知り合いから借りたりしています。浴衣も自分の以外は領事館からお借りしました。「和菓子」がテーマのときは、インターネットでレシピを見て、どら焼きも手作り！ここでの活動が自分自身の成長にもつながっています。

